

# ITSMO 開発ストーリー

—「リクの19歳の横顔」と、社長自身の人生が教えてくれた答え—\*\*

ITSMOが誕生したきっかけは、商品企画でも、マーケティング戦略でもありませんでした。すべては、19歳の柴犬・リクと、そして創業者自身の人生が運んできた“気づき”から始まりました。

---

## ◆ リクの変化と、社長自身の病気が重なった瞬間

創業者には、長年寄り添ってきた老犬・リクがいました。

賢くて、やさしくて、家族の中心だった子。

19歳という年齢は犬にとって奇跡に近く、それでも彼は毎日ゆっくりと、健気に生きる力を見せ続けてくれました。

しかしある日、リクが散歩で踏ん張れず、座り込むようになった。

後ろ脚が細くなり、階段をためらうようになった。

「もう年齢だから仕方ない」と言われる一方で、

“本当にそれだけなのか？”という疑問が胸にずっと残りました。

そんな時、社長自身に突然起きたのがくも膜下出血でした。

さらに大切な友人も、同じ頃にがんを患い、健康についての考え方方が大きく揺さぶられることになります。

「どうして体は弱っていくのか？」

「老化はなぜ進むのか？」

こうした疑問は、自然と栄養学・生理学・論文調査へと繋がっていきました。

---

## ◆ “糖化”という大敵にたどり着く

—老化の根本で静かに進む破壊—\*\*

調べるほど浮かび上がったキーワードが「糖化(AGEs)」でした。

糖化とは、タンパク質と糖が結びついて劣化し、硬くなったり壊れやすくなる現象。  
そして糖化が進むと、体のあらゆる組織が弱くなる。

その中で、驚くべき事実が出てきます。

---

## ◆ 血管・筋肉・皮膚…すべての根幹にあるのが“コラーゲンとエラスチン”

論文を読み進める中で、社長を震えさせた一文がありました。

「エラスチンは体内でほとんど再生されない」

そして老化とともに、  
エラスチンは“最終的に体内からほぼゼロになる”と言われています。

さらに、

- 糖化によってエラスチンは劣化し、弾力を失う
- エラスチンが失われると、コラーゲンの量も急激に減少する
- 血管・筋肉・皮膚の質は一気に落ちる

つまり  
エラスチンが減る → コラーゲンも減る → 老化が加速する  
この“負の連鎖”が、人にも動物にも静かに起きている。

そして社長はこう思いました。

「リクの身体にも、きっと同じことが起きているのでは？」  
「老化の根本に働きかけるサプリメントは、なぜ犬猫業界にはないのか？」

---

## ◆ 市場を見渡したら“必要なものが存在しない” という現実

人間用では常識になりつつある  
高純度コラーゲン×エラスチンの併用。

しかし犬猫向けサプリメントでは、まともなものがほとんどありませんでした。

理由は明確でした。

- エラスチンは高価で、動物向けでは採算が合わない
- 高純度抽出が難しく、原料メーカーも積極的に供給しない
- 業界側が「動物にはいらない」と判断してきた

でも、リクの姿を見ながら確信していたのです。

「必要ない」のではなく、  
“誰も作らなかっただけ”  
なのだと。

---

## ◆ だからITSMOは、原料メーカーに何十回も交渉した

- 高純度であること
- 吸收性が高いこと
- 犬にも猫にも負担がないこと
- 添加物を極限まで減らすこと

これらをすべて満たす原料は、ごくわずか。

「動物向けならもっと安いものを使えば？」と何度も言われたけれど、そのたびに首を振りました。

創業者の中では答えが決まっていたからです。

“人間用以上の基準でつくらないなら意味がない”

そのうえでようやく辿り着いたのが、  
医療・美容グレードの高純度コラーゲンとエラスチン。

そして製薬会社監修のもと、犬猫の体に負担をかけず、  
老化の根本にアプローチできる黄金比率が完成しました。

---

## ◆ リクが見せた“あの日の一步”が、すべてを決定づけた

開発品をリクに試し始めて数週間が経った頃。

リクは、以前なら諦めていた段差の前で、一度だけこちらを振り返り、  
トン、と小さく一步を踏み出した。

19歳のその身体で。

その姿を見た瞬間、社長は泣いたと言います。  
そして心の中で決めました。

「このサプリメントを必要としている犬や猫が必ずいる」  
「リクが残してくれた“ヒント”を社会に届けよう」

ITSMOは、リクのその一步から、本当の意味で動き始めました。

---

## ◆ ITSMOが大切にしている考え方

### ✓ 老化の根本「糖化」と戦う設計

コラーゲンとエラスチンを補うことで、動ける体の土台を支える。

### ✓ 犬猫に必要なものを、シンプルに

余計な添加物・味付け・誤魔化しは一切しない。

### ✓ 飼い主の不安に寄り添う

「この子はまだ元気でいてくれるかな？」  
その問いに、真正面から答える。

### ✓ 科学と愛情の両方を大切に

論文という“科学”、  
リクという“家族の愛情”。

その両輪で生まれたサプリメント。

---

## ◆ ITSMOは、すべての“うちの子”的未来のために

老化は止められない。  
でも、老化の“スピード”は変えられる。

毎日の小さな積み重ねが、  
犬や猫の「今日の元気」と「未来の元気」を守っていく。

そのためにITSMOは生まれ、  
そしてこれからも進化を続けていきます。

